

(参考資料) NEDO 追跡調査に関連する先行調査・先行研究一覧

1. 本調査に関連する先行調査

- [1] 2017 年度「NEDO 追跡アンケート結果に基づくプロジェクトの効果及び研究開発マネジメントに関する調査」
- [2] 2017 年度「研究開発プロジェクトにおける評価結果及び評価結果間の関連性に関する調査」
- [3] 2018 年度「平成 30 年度『NEDO プロジェクトの効果測定及びマネジメントに関する調査』」
- [4] 2019 年度「NEDO 追跡アンケート調査結果に基づくプロジェクトの成果把握及び研究開発マネジメントがもたらす効果に関する調査」

上記調査の成果報告書は、NEDO ホームページにある「成果報告書データベース」より検索及びダウンロードが可能です。ユーザ登録の上、ご利用ください。

http://www.nedo.go.jp/library/database_index.html

2. NEDO 職員による NEDO 追跡調査に関連する学会発表一覧 (2011 年度以降)

- [1] 吉田朋央・山下勝・竹下満, ” 追跡調査による NEDO プロジェクトの成功要因の考察”, 研究・技術計画学会年次学術大会講演要旨集, Vol.26, pp. 798-801, 2011.
- [2] 吉田朋央・山下勝・竹下満, ” コンソーシアム型 NEDO プロジェクトにおける成功要因の分析”, 研究・技術計画学会年次学術大会講演要旨集, Vol.27, pp. 693-696, 2012.
- [3] 宍戸沙夜香・山下勝・吉田朋央・竹下満・染宮昭義, ” クラスタ分析および重回帰分析を用いた NEDO プロジェクトにおける成功モデルの研究”, 研究・技術計画学会年次学術大会講演要旨集, Vol.27, pp.689-692, 2012.
- [4] 吉田朋央・山下勝・竹下満, ” 追跡ヒアリングを中心としたコンソーシアム型 NEDO プロジェクトにおける成功要因分析”, 研究・技術計画学会年次学術大会講演要旨集, Vol.28, pp.184-189, 2013.
- [5] 一色俊之・山下勝・宍戸沙夜香・吉田朋央・竹下満・染宮昭義, ” NEDO 追跡アンケート調査の統計分析による成功モデルの研究”, 研究・技術計画学会年次学術大会, Vol.28, 1E08, 2013
- [6] 沼田光紗・一色俊之・保坂尚子・佐藤嘉晃・染宮昭義, ” NEDO 追跡調査による成功要因分析”, 研究・技術計画学会年次学術大会, Vol.29, 1I06, 2014.
- [7] 加藤知彦・柴山創太郎・馬場靖憲, ” コンソーシアム型研究開発プロジェクトの政策評価: NEDO 追跡調査の事例分析”, 研究技術計画学会誌, Vol.29, No.4, pp. 232-248, 2014.
- [8] 鍛冶日奈子・一色俊之・佐藤嘉晃, “研究開発プロジェクトにおける終了後評価に関する分析”, 研究・技術計画学会年次学術大会, Vol.30, pp.245-248, 2015.

- [9] 功刀基・植山正基・一色俊之, "NEDO プロジェクト終了後の研究開発再開事例に関する研究", 研究・技術計画学会年次学術大会, Vol.30, pp.241-244, 2015.
- [10] 井出陽子・一色俊之, "研究開発プロジェクトにおける知財マネジメントに関する分析", 研究・技術計画学会年次学術大会, Vol.30, pp.237-240, 2015.
- [11] 功刀基・一色俊之・徳岡麻比呂, "NEDO プロジェクト終了後の研究開発の中止・中断及び再開事例に関する研究", 研究・イノベーション学会年次学術大会, Vol.31, 1G08, 2016.
- [12] 一色俊之, "コンソーシアム型プロジェクトを成功に導くための処方箋 – フォロワーシップ研究からのアプローチ", 産業組織心理学第 33 回全国大会, セッション 10-4, 2017.
- [13] 一色俊之, "研究開発プロジェクトにおける評価結果及び評価結果間の関連性に関する分析", 研究・イノベーション学会年次学術大会, Vol.32, 2B17, 2017.
- [14] 一色俊之・功刀基・植山正基・宮嶋俊平・上坂真, "中長期研究開発プロジェクトにおけるアウトカムに関する考察 – NEDO 追跡調査データに基づく分析 –", 研究・イノベーション学会年次学術大会, Vol.33, 2A04, 2018.
- [15] 功刀基・一色俊之・上坂真, "コンソーシアム型研究開発プロジェクトにおける実施者間連携に関する研究", 研究・イノベーション学会年次学術大会, Vol.34, 2G02, 2019.
- [16] 上坂真・功刀基・須永吉彦・松井萌・梅田到, "ナショナルプロジェクトにおける最適な実施体制の在り方に関する一考察", 研究・イノベーション学会年次学術大会, Vol.34, 2E03, 2019.

3. 大学研究者による NEDO 追跡調査に関連する学会発表・論文等一覧

3-1. イノベーション過程と研究開発プロジェクトのマネジメント手法等に関する研究 (2009~2011 年度, 一橋大学)

- [1] 青島矢一・松嶋一成・江藤学, "Commercialization of Government Funded R&D : Follow-up Research Survey on NEDO Research Projects", IIR ワーキングペーパー (一橋大学イノベーション研究センターレポート WP#11-2), 2010.
- [2] 青島矢一・松嶋一成, "研究開発活動の波及効果: NEDO 支援プロジェクトの追跡調査研究", 研究・技術計画学会年次学術大会講演要旨集, Vol.26, pp.922-926, 2011.
- [3] 松嶋一成, "公的支援プロジェクトのマネジメント", 博士論文(一橋大学), 2011.
- [4] 青島矢一・松嶋一成・江藤学, "公的支援 R&D の事業化成果:NEDO 研究プロジェクトの追跡調査研究", 日本企業研究のフロンティア(一橋大学日本企業研究センター研究年報), No.7, pp.73-87, 2011.
- [5] 松嶋一成, "公的支援による民間の研究開発活動への影響", 日本企業研究のフロンティア(一橋大学日本企業研究センター研究年報), No.7, pp.99-111, 2011.
- [6] 長岡貞男・江藤学・内藤祐介・塚田尚稔, "NEDO プロジェクトから見たイノベーション過程", 経済研究, Vol. 62, No.3, pp.253-269, 2011.
- [7] 長岡貞男・江藤学・青島矢一・大湾秀雄・松嶋一成・西村淳一・塚田尚稔, "イノベ

- ーションへの協力： NEDO コンソーシアムのサーベイからの知見", IIR ワーキングペーパー（一橋大学イノベーション研究センターレポート WP#12-13）, 2012.
- [8] 青島矢一・松嶋一成・江藤学, "Effects of government funding on R&D performance leading to commercialisation", *International Journal of Environment and Sustainable Development*, Vol.12, No.1, pp.22-43, 2013.
- [9] 松嶋一成・青島矢一, "The Spillover Effects of Publicly Supported Private R&D: Analysis of NEDO Follow-up Survey Data", IIR ワーキングペーパー（一橋大学イノベーション研究センターレポート WP#14-4）, 2014.
- [10] 松嶋一成・青島矢一, "民間 R&D に対する公的支援の間接的波及効果:NEDO 追跡調査のデータ分析", *研究 技術 計画*, Vol.30, No.3, pp.221-239, 2015.
- [11] 高田直樹, “共同研究開発を通じたイノベーションの実現要因：プロジェクトレベルの要因がもたらす影響”, *組織科学*, Vol. 51, No.4, pp. 62-76, 2018.

3-2. NEDO プロジェクトの効果測定及びマネジメントに関する研究 (2015 年度～現在、各研究者チーム)

○磁性物理モデルを用いた NEDO プロジェクトの有効化・効率化に関する定量的解析に関する研究

- [1] 林田英樹・船島洋紀・山崎晃・久保裕史, "磁性物理モデルを用いた NEDO プロジェクトの有効化・効率化に関する定量的解析に関する研究", 第 22 回国際 P2M 学会研究発表大会, 2016.
- [2] 林田英樹・船島洋紀・山崎晃・久保裕史, "Empirical research of quantitative evaluation of the modified magnetic model for the R&D project management", *The 5th International Conference on Project & Program Management*, 2017.
- [3] 林田英樹・船島洋紀・山崎晃・久保裕史, “Empirical research on quantitative evaluation by the modified magnetic model for the R&D project management”, *The 3rd International Conference on Production Management*, 2017.

○民間 R&D に対する公的支援の効果に関する研究

- [4] 松嶋一成・高田直樹・青島矢一, “民間 R&D に対する公的支援の効果”, *研究・イノベーション学会年次学術大会講演要旨集*, Vol.31, pp.326-331, 2016.
- [5] 青島矢一・松嶋一成・高田直樹, “How do Influences of Funding and Funded Organizations Affect Performance of Publicly-Supported Private R&D Projects?”, *PICMET'18 Conference*, 2018
- [6] 和泉章, “NEDO 技術開発プロジェクトにおける企業の参加形態と成果の継続的活用に関する関係についての考察”, *イノベーション学会年次学術大会*, Vol33, 1A08, 2018
- [7] 和泉章, “NEDO プロジェクトの成果に関連して出願された特許の登録状況についての考察”, *イノベーション学会年次学術大会*, Vol.34, 2D17, 2019.
- [8] 松嶋一成・青島矢一・高田直樹, “公的支援プロジェクトにおける企業と研究支援

機関の関与の影響", 研究 技術 計画, Vol.34, No.4, pp.423-439, 2019.

○NEDO 技術開発プロジェクトにおける効果的な製品開発マネジメントに関する研究

[9] 富田純一, "NEDO プロジェクトにおける効果的な R&D マネジメント", 研究・イノベーション学会年次学術大会, Vol32, 2A20, 2017.

[10] 富田純一, "NEDO プロジェクト・マネジメントに関する予備的考察—R&D 継続/上市に影響を及ぼす要因—", 経営論集, vol.91, pp.1-12, 2018.

○NEDO プロジェクトにおける成功・失敗の予測モデルの構築

[11] 田口淳子・立本博文・佐藤忠彦, "1F06 研究開発プロジェクト支援事業における成功・失敗要因の分析", 研究・イノベーション学会年次学術大会, 2017.

[12] 田口淳子, "研究開発プロジェクト支援事業における成功・失敗要因の分析", 筑波大学修士論文(経営学), 2018.

○磁性物理モデルを用いた NEDO プロジェクトの有効化・効率化に関する定量的解析に関する研究

[13] 野間口隆郎・山崎晃・林田英樹・船島洋紀・高橋雅和, "2A21 コンソーシアム型による実用化技術の研究開発プロジェクトに関するネットワーク分析", 研究・イノベーション学会年次学術大会, 2017.

[14] 野間口隆郎・山崎晃・林田英樹・船島洋紀・高橋雅和, "コンソーシアム型研究開発プロジェクトに関するネットワーク分析", Vol33, 1A07, 2018

[15] 野間口隆郎・山崎晃・林田英樹・船島洋紀・高橋雅和, "A Network Analysis on Consortium type Research and Development Project", ProMAC 2018, 2018